

【寄稿①】～金融商品仲介業者におけるコンプライアンス～

ファイナンシャル・アドバイザー（FA）が顧客の側に立った真のアドバイスを行なうための支援及び我が国におけるFAの普及促進などを目的として、昨年1月に設立されたFA協会ですが、コロナ過で大幅に活動が制限される中においても、HPやWebセミナー等で情報を発信しFAにとって有意義な情報共有が継続されていることに謝意を表すと同時に協会設立の意義に改めて思いをはせている次第です。

近年の大手証券の営業方針転換による組織変更や人事制度の改定もあいまって、多くの証券マンが顧客本位の営業を実践したいとFAに転身してきているのは周知のことと思います。また我が国では2025年に団塊世代の方が75歳を迎え超高齢化社会を迎えます。高齢者や家族の資産運用に対し長くお付き合いのできる信頼のおけるアドバイザーのニーズが高まっております。

このような問題を解決し長期的なサポートを提供出来るのがFAだと考えています。しかしながら対面でのアドバイスを行う金融商品仲介業者の外務員数は4300名であり顧客の希望する対面サポートを提供するに十分な数であるとは言えない状況です。

これは証券会社の課題でもあります。金融商品仲介業者は所属する証券会社から業務委託を受け顧客の投資方針に沿って運用のアドバイスを行います。営業考査等のコンプライアンス管理は所属証券会社が行っている現状からFAの増加はすなわち証券会社の管理コスト増につながり、所属証券会社において新規の金融商品仲介業契約を抑制せざるをえない事情が出てきていることも事実であります。

ご承知の通り、金融商品仲介業者は所属する証券会社からの商品の供給無くしてビジネスは成り立ちません。金融商品仲介業者は取扱商品の品揃えのため、複数の証券会社と業務委託契約しているケースが多くなっております。そのため金融商品仲介業者側では、各証券会社によって異なるコンプライアンス基準の管理が煩雑となります。一方証券会社側では、コンプライアンス管理は取引実績を基に検証するため他の証券会社で取引されている内容については把握できないため、全体把握は金融商品仲介業者の判断に任されているといった課題があると思っております。結果としてFAによっては、手続きが簡素化されたコンプライアンス基準が緩い証券会社へ取引が流れる傾向が見受けられます。

先述の通り超高齢化社会を迎える今後において、高齢者の取引が増す中、金融商品仲介業者においては、内部管理体制の構築はもちろんのこと、特に複数の証券会社と契約している場合にはより厳正な管理体制の構築は待たなしの状況であると感じています。このような現状の課題を克服するには横断的な管理機能を持つなど統一されたコンプライアンス基準を設ける努力は必要になってくるでしょう。いうまでもなく金融商品仲介業者と業界の更なる拡大は、顧客が信頼できる安心したサポート体制の構築なくしてありえません。その意味からもFA協会はFAの健全な営業活動の進展を担っているため、その存在意義はますます重要なものとなっていくことでしょう。顧客が求めるサービスを提供できるようSBI証券としては、引続きFAのサポート機能の充実化を図り業界の発展に貢献していきたくと考えております。



金井 昌樹氏
株式会社SBI証券
執行役員 IFAビジネス部 掌管

【寄稿②】 図書推薦「金融リテラシー入門基礎編、応用編」幸田博人氏／川北英隆氏編著
(一般社団法人金融財政事情研究会、2021年1月)



野尻 哲史氏

フィデリティ投信株式会社 フィデリティ・インスティテュート退職・投資教育研究所 所長



昨今、金融リテラシーという言葉をよく聞くようになった。しかし、「金融リテラシーとは何か」と聞かれると即答に困ることはないだろうか。本著の基礎編では、OECDの定義に沿って「金融に関する健全な意思決定を行い、究極的には金融面での個人のよい暮らし (well-being) を達成するために必要な、金融に関する意識、知識、技術、態度及び行動の総体」を金融リテラシーとして紹介している。単純に金融の知識だけではなく、意識や技術、態度や行動までをカバーする広い範囲の議論だ。だからこそ「金融リテラシーとは何か」というシンプルな質問こそ、実はなかなか即答できない、難しいものとも言えるのだろう。

本著の基礎編並びに応用編は、副題「人生100年時代に京都大学で学ぶ、お金の話」とある通り、京都大学で実際に行われた講義の内容をまとめたものだ。合わせると500ページを優に超えるボリュームだが、16本のコラムが含まれているほか、図表がふんだんに使われていることもあって、さながら紙面で大学の講義を垣間見るように思えるはずだ。

もちろん大学生向けと侮るわけにはいかない。執筆陣は、大学教授陣だけでなく、金融庁、日銀、東京証券取引所、民間シンクタンクなどの多彩な専門家が揃い、それぞれが独自の意見を展開していることから、読みながらメモを取ることが必要になるほどに有益で面白い。ファイナンシャル・アドバイザーの方々にも有益な知見がふんだんに見つかると思う。私も久しぶりにマーカーでチェックをしながら読み進んだ。

編著者によると、基礎編は「大学生にとっての基本的な金融リテラシーとは何か」という視点でまとめたとしている。その基礎編では、序章で PISA(Programme for International Student Assessment)が、2012年に出した金融リテラシー調査のサンプル問題を紹介している(執筆者が日本人向けに若干改編と注あり)。「請求書の中身を読み解くもの」、「株価の推移を考えるもの」、「給与明細の見方」、「Phishingメールへの対応」などのテーマで8つの小問からなっているが、これが15歳時点での金融リテラシーを測るクイズなのだから考えさせられる。皆さんは全問正解できるだろうか。ファイナンシャル・アドバイザー自身も然ることながら、皆さんのお子さんやお客様にも紹介しても面白いはずだ。

応用編は、「日本の今後の社会構造や金融経済構造の大きな変化などの環境の下で金融リテラシーというテーマそのものの専門的な深みを探る」と位置付けている。そのため超高齢社会、人口減少、ITやAI、デジタルライゼーション、持続可能な社会など、日本社会が抱える各種の課題を金融の目線から言及している。金融の担い手であるアドバイザーのビジネスモデルといったテーマは、ファイナンシャル・アドバイザーにとって必読のページだろう。そのほか、金融機関のビジネスモデル、資産活用、金融ジェロントロジー、資産運用の高度化、FinTechやデジタルライゼーション、年金・ESG投資などが、それぞれの専門家の執筆によって網羅されている。応用編はより骨太な議論が展開されており、ファイナンシャル・アドバイザーの皆さんの良き指南書となるだろう。

【協会活動紹介】～今年度の取り組みについて～



中桐 啓貴理事長
GAIA株式会社 代表取締役社長兼CEO

FA協会の活動が本格化してからこの4月で2年目となりました。今年度は、会員の営業支援や認知度向上のための取り組みをさらに強化していこうと思っております。

まずは、皆様のご支援を賜り、金融商品仲介業者の皆様に対し、協会から(定量・定性的に)アンケート調査を実施させて頂こうと思っております。当アンケート結果を分析し、コロナ禍が営業にどのような影響を及ぼしているか、また、「顧客本位の業務運営」や「ライフプランに基づくアドバイス」等をどのように実践されているか、さらに、お客様から皆様の活動のどこが評価されているか、などを共有し、皆様のビジネスにお役立ていただきたいと思っております。また最近の傾向として幅広い層が長期分散積立投資に関心を持つようになっており、FAに対してどのようなアドバイスニーズがあるかなども調べていければと考えています。

当調査を有益なものとするには、調査に先立ち、どのような項目を調査し、どのように分析するかを慎重に検討する必要があります。このため、協会内に実行委員会を立ち上げるとともに、専門の調査機関の活用や外部有識者の支援を仰ぐことを検討しております。なお、調査結果は、適宜整理の上、行政やメディアにも公開し、協会や会員の皆様の活動についての認知度向上に繋げていこうと思っております。

このほか、会員の皆様の専門性向上のため、研修や情報提供をより充実させて参ります。昨年度は、会員の皆様にアンケート調査を行い、ご要望の多かった項目について、各理事・委託正会員のほか、金融庁幹部や外部有識者をお招きして、講演やパネル・ディスカッション形式で解説して頂きました。今年度は、営業現場で役立つ身近な情報や企業のサステナビリティを考える経営者や管理者の皆様向けの情報を、様々な手法を駆使して数多く提供していきたいと考えております。また、講演者やパネラーも、会員の皆様に加え、他協会や学界、行政、外部有識者など幅広い分野より募りたいと考えております。このため、既存の研修分科会の体制を人的に強化して参る所存です。今年度の協会活動にご期待ください。

【4月のお知らせ】

2021年4月22日 _ 営業支援ツール分科会2021年度報告書の掲載について

2021年4月2日 _ 3月30日開催 _ 第2回セミナー『顧客本位の業務運営の進展に向けて～重要情報シートの活用について～』
講演の様様(資料・動画) 掲載について

【編集後記】

4月より事務局長に就任しました入木と申します。皆様と一緒に協会活動を盛り上げて参りたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて本4月号では、SBI証券の金井執行役員から金融商品仲介業者におけるコンプライアンスに関する問題提起があり、またフィデリティ投信の野尻氏よりファイナンシャルアドバイザー必読の書をご紹介いただきました。そして中桐理事長からは今年度の協会の取り組みについて決意表明がありました。

本ニュースレターは、理事や各会員からのメッセージ、図書・レポート推薦文を掲載・配信しております。皆様のご寄稿をお待ちしております。

(事務局 入木雅和)